

入浴中の事故を防止する見守りセンサシステム

共同研究機関 (株)メディカルプロジェクト

概要 Abstract

入浴中の体調異常による高齢者の溺死事故が全国で多発しています。そこで入浴中の呼吸や鼓動に伴う体の微小な動きを捉える高感度な空圧センサによって体調異常を検知し、報知機や自動排水弁を作動させるシステムを開発しました。

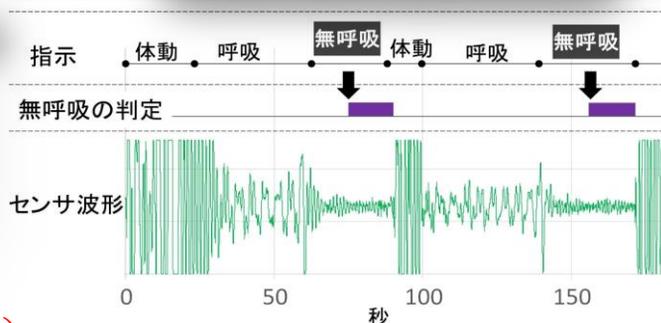


入浴による急激な温度・水圧の変化に伴う意識障害や体調異常による溺死事故は年間1万7千件と推計されています。

成果 Results

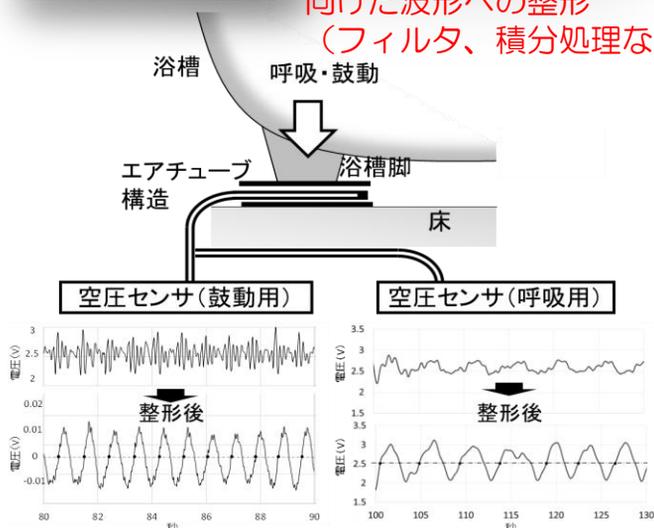


②整形した波形による呼吸の有無の自動判別の例



①信号処理技術

呼吸や鼓動の自動判別に向けた波形への整形 (フィルタ、積分処理など)



呼吸や鼓動の停止を確認

③安全確保装置の起動



同居者への速やかな通報と、排水による安全の確保

普及 Dissemination

- ・本研究成果は北海道新聞、日本経済新聞など各社新聞に掲載されたほか、テレビ東京の番組（ワールドビジネスサテライト）で紹介されました。
- ・H27年度中の実用化に向けて浴槽メーカーと追加実験を進めています。

連絡先 Contact

産業技術研究本部
ものづくり支援センター
工業技術支援グループ
研究主任・桑野晃希